

時代の葉

TOKI NO SHIORI



読み聞かせで広がる世界

作家・よい子に読み聞かせ隊長

志茂田 景樹さん(79)



が伝わり、その人なりの味が出せるのが、絵本の魅力です。

絵本の読み聞かせは心や感受性を豊かにし、気持ちの切り替えもできる。東京電力福島第一原発事故の後、避難所で読み聞かせをした際は、ぬぐい去ることができない強い不安もあると限界を感じましたが、それでも、不安を少しでも和らげられるなら、続ける意味があるのではないかと改めて継続を決意しました。全国各地を訪れ、現在1935回。体力が続く限り、やっていきたいです。

絵本の読み聞かせ活動を1998年から続けています。福岡市の書店で初めてした後、「落ち込んでいたが、元気が出た」と声をかけられました。不思議な力があるのだと驚きました。自分も心が洗われ、すがすがしい気持ちに。大人も子どもも垣根なく、読み手と

聞き手が一緒に、物語の世界を広げられることに魅了されました。

妻と二人三脚で始め、99年に

「よい子に読み聞かせ隊」を結成。以後、絵本を通して、命の大切さや、生きることの素晴らしさを伝えていきます。

「ぐりとぐら」は、妻が長男に

よく読んでいました。絵本は子や孫へと読み継がれる「つながっていく」ベストセラーが多い。「ぐりとぐら」もそうですね。

現在、ツイッターのフォロワーは41万超。ネット上で人生相談を受けられることも多い。一方、絵本の世界はアナログ。肉声やぬくもり